

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。なお、施工後は、お施様にお渡しください。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意…取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- キャビネットが転倒してけがをするおそれがありますので、下記事項を厳守してください。
 - ・指定の位置に、厚さ24 ×60以上の硬木の棧木を設置してください。
 - ・棧木には、虫食い・くされ等のない物を使用してください。
 - ・棧木は必ず柱・間柱に釘等で固定してください。
 - ・ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。(厚さ12mmの合板ではつり下げ強度が足りません。)
 - ・必ず指定の躯体取付けねじφ3.8×57(黒)を指定の本数使用してください。
 - ・必ず棧木の中央または厚さ18mm以上の合板に固定してください。
 - ・躯体への固定後、キャビネットをゆすってガタつきのないことを確認してください。
- 扉のつり込みの際は、扉の丁番本体をキャビネットの丁番ベースプレートに「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因になります。
- 棚板取付けの際は、「カチッ」と音がするまで棚板の手前を押し下げ、本体に固定されていることを確認してください。棚板の脱落の原因になります。
- リフォーム等の場合で棧木位置が石こうボード等で確認できない場合は、石こうボードをはがして棧木位置を確認してください。棧木がない場合は、柱・間柱に釘等で棧木を取り付けてください。

■施工上のお願

- 壁内(躯体)に固定する際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を調整してください。キャビネットのねじれにより、本体の開閉に支障がでるおそれがあります。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープ等を化粧面に張らないでください。はがす際に、化粧シートが損傷するおそれがあります。
- プラスドライバーの先はNo.2のものを使用してください。ねじ頭をつぶすおそれがあります。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したりねじ頭がとんだりつぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。部品・部材の脱落や垂れ下がり・ゆがみ等の原因となります。
- 発熱燈付近には取り付けしないでください。熱により、部品が変形するおそれがあります。

■部材・部品一覧表

●キャビネット梱包

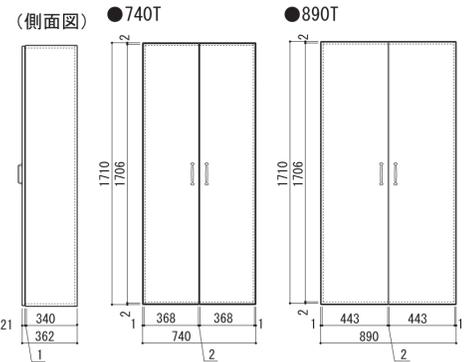
名称	棚ダボ	キャビネット連結ねじφ3.5×30(黒)	躯体取付けねじφ3.8×57(黒)	把手(ねじ付き)	棚板
形状					
740T	—	16	4	2	—
890T	40	30	8	2	10

※890Tキャビネットには、棚板10枚が同梱されています。

●回転式本体梱包

名称	回転式本体	スライドレール	アーム取付けねじφ5×10スプリングワッシャー平ワッシャー	ハンドル	ハンドル取付けねじM5×25平ワッシャーナット	棚板	棚板サイドカバー	落下防止バー
形状								
740T	1	1	各2	1	各2	15	R/L各15	15
890T	1	1	各2	1	各2	15	R/L各15	15

■寸法図



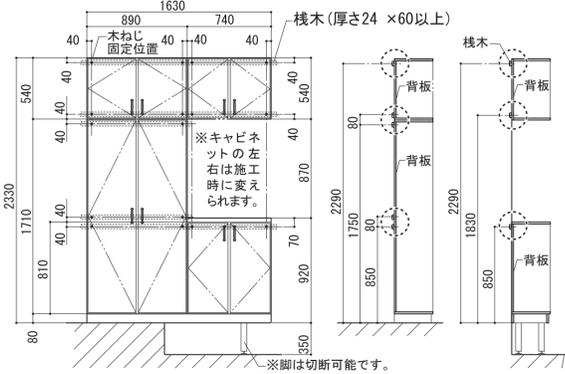
■取付け詳細

1 棧木の位置確認

●設置位置と上がりの位置及び収納セットの左右勝手を確認します。

▲注意

- 指定の位置に、厚さ24 × 60以上の硬木の棧木を設置してください。
- 棧木には、虫食い・くされ等のない物を使用してください。
- リフォーム等の場合で棧木位置が石こうボード等で確認できない場合は、石こうボード等をはがして棧木位置を確認してください。棧木がない場合は、柱・間柱に釘等で棧木を取り付けてください。



2 棧木の固定

●棧木を取り付けます。

▲注意

- 棧木は必ず柱・間柱に釘等で固定してください。

※棧木の高さについては、■棧木の位置確認をご参照ください。

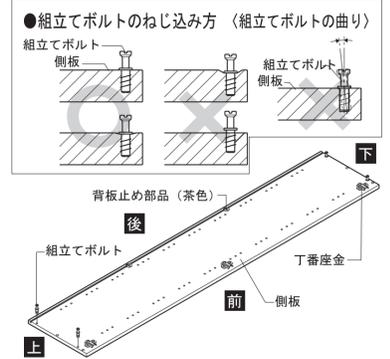
【ベタ張りにする場合】

▲注意

- ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。(厚さ12mmの合板ではつり下げ強度が足りません。)

3 部品の取付け

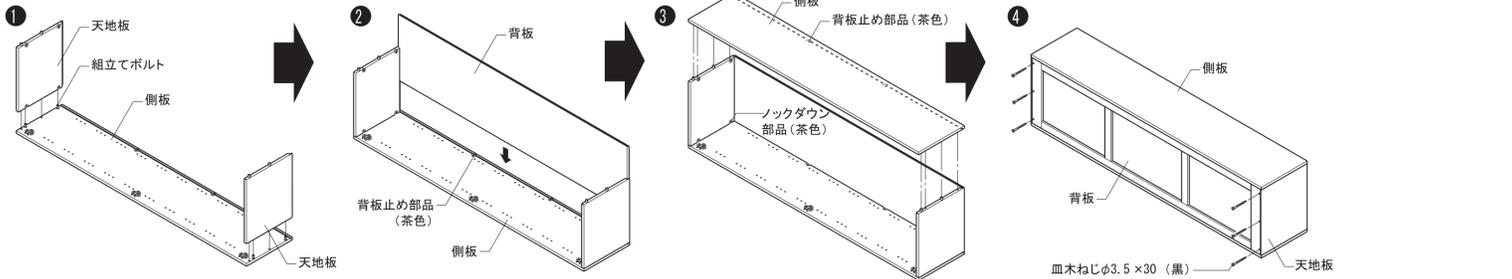
●側板の上下のφ5穴に4本ずつ、組立てボルトをねじ込みます。



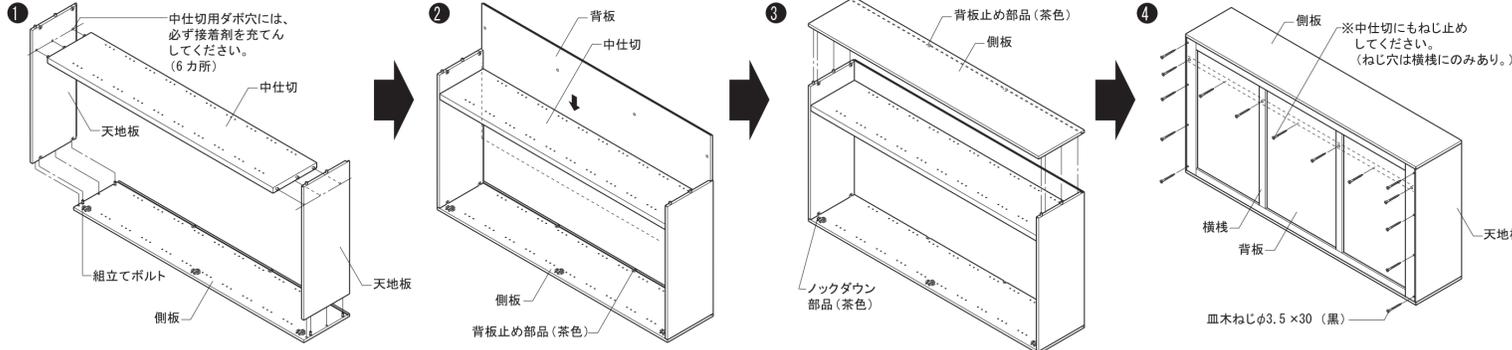
4 側板・天地板の組立て

- ①両方の天地板に、片方の側板(及び中仕切)を差し込みます。
- ②背板を側板の溝に差し込み、背板止め部品(茶色)を締めます。(締め方参照)もう片方の側板を差し込み、ノックダウン部品(茶色)を締めます。(締め方参照)
- ③指金等でキャビネットの直角を確認しながら、もう片方の背板止め部品(茶色)を締めます。
- ④血木ねじφ3.5×30(黒)で、背板を天地板に固定します。

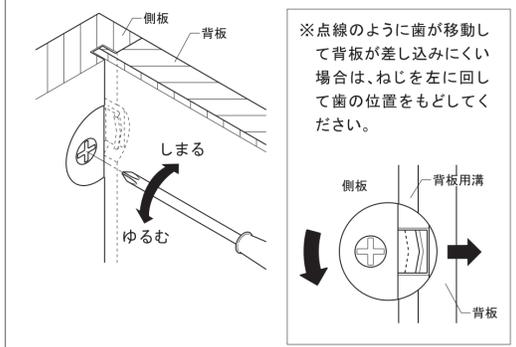
[740タイプ]



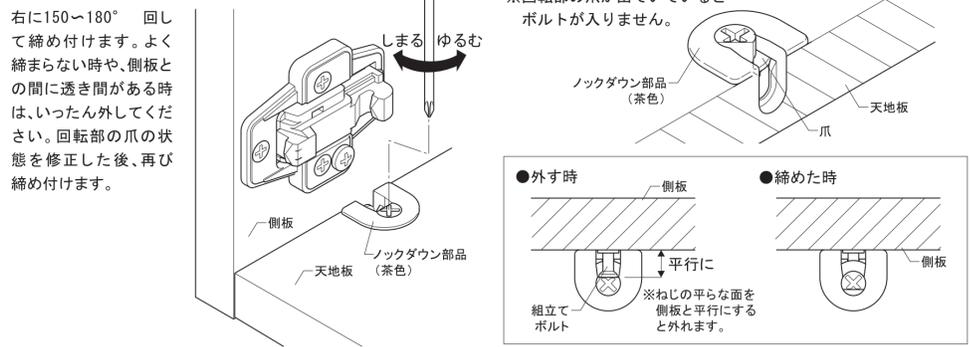
[W890タイプ]



■背板止め部品(茶色)の締め方

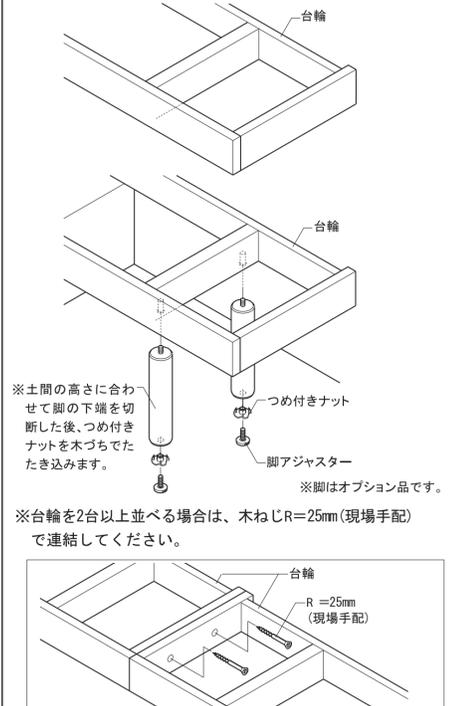


■ノックダウン部品(茶色)の締め方



5 台輪の設置

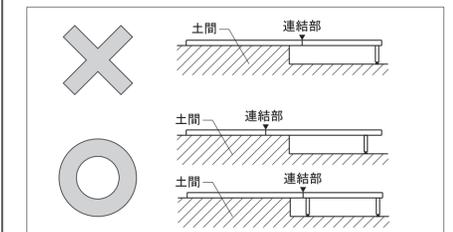
- 据付け場所に台輪を置きます。
- ※台輪を土間に直置きする場合は、水切りのため、アジャスターで10~15mm浮かせてセットしてください。
- ※W1335タイプ以上で、台輪が土間に2/3以上かかる場合は、オプションの追加脚セットを台輪の中央に取り付けてください。



※土間の高さに合わせて脚の下端を切断した後、つめ付きナットを木づちでたたき込みます。

※脚はオプション品です。

※台輪を2台以上並べる場合は、木ねじR=25mm(現場手配)で連結してください。



※連結部は、土間にかからないようにしてください。やむを得ない場合は、脚を4本使用し市販のボルト・ナットで台輪を連結してください。

※台輪の脚の切断可能範囲は、最大100mmです。

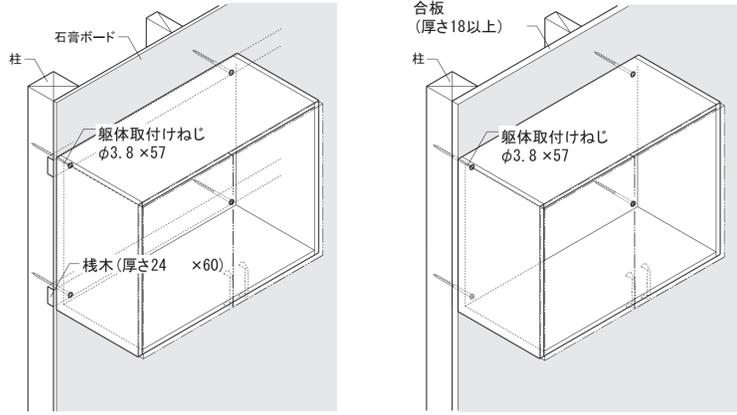
※アジャスターの調整範囲は10mm~25mmです。

6 躯体への固定

●水準器・下げ振りでキャビネットの水平・垂直を調整しながら固定します。

▲注意

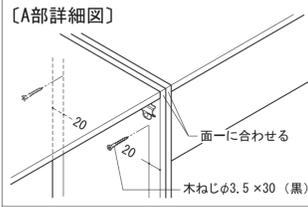
- 必ず指定の躯体取付けねじφ3.8×57(黒)を指定の本数使用してください。
- 躯体への固定後、キャビネットをゆずってガタつきのないことを確認してください。
- 必ず棧木の中央または厚さ18mm以上の合板に固定してください。



7 ウォールキャビネット・トールキャビネットの連結

【キャビネット+キャビネット左右連結】

- キャビネットの側板前面を面一に合わせ、付属の木ねじφ3.5×30(黒)で止めます。(A部詳細図)

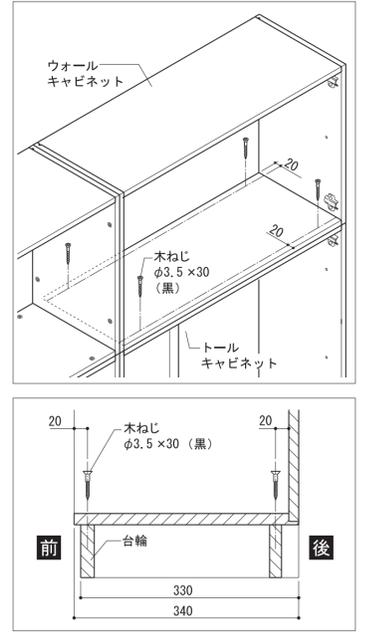
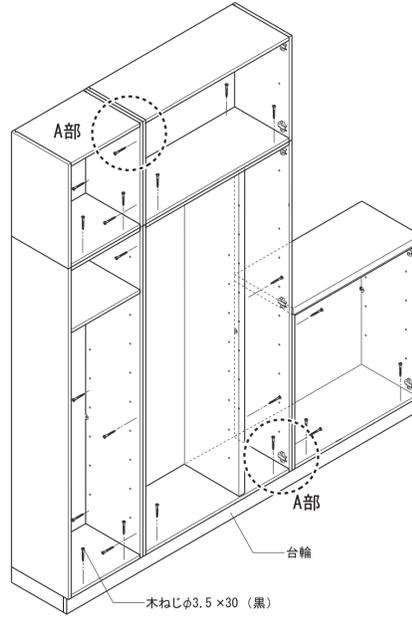


【台輪+各キャビネット】

- キャビネットの内側から台輪に木ねじφ3.5×30(黒)で連結します。 ※キャビネットの背面を壁面に合わせ、左右のチリを均等にしてください。

【ウォールキャビネット+トールキャビネット】

- ウォールキャビネットの地板からトールキャビネットの天板へ(上から下へ)木ねじφ3.5×30(黒)で連結します。



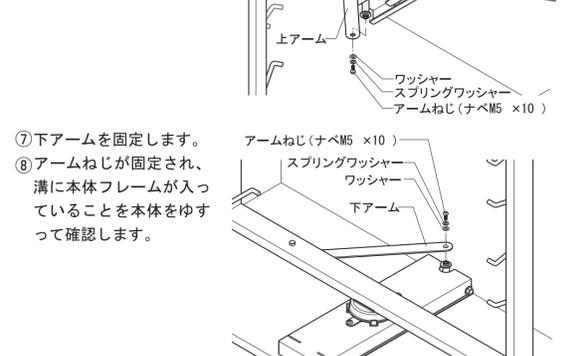
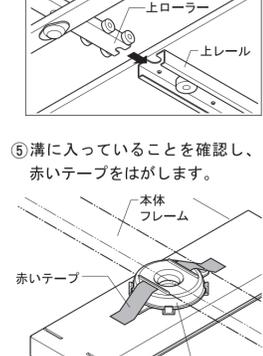
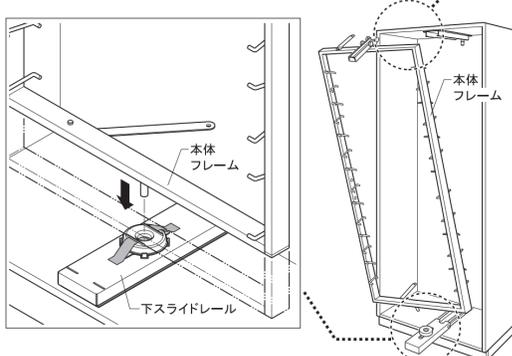
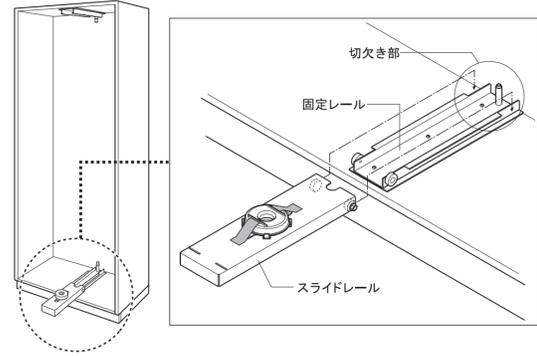
8 回転式ユニットの取付け

- ①固定レールの奥の切欠き部からスライドレールを入れます。
- ②スライドレールを動かし、固定レールにスライドレールが入っていることを確認します。

- ③下スライドレールの白い樹脂カバーの溝に、本体フレームの向きを合わせて入れます。

- ④上ローラーを上レールにはめ込みます。

- ⑥上アームを固定します。

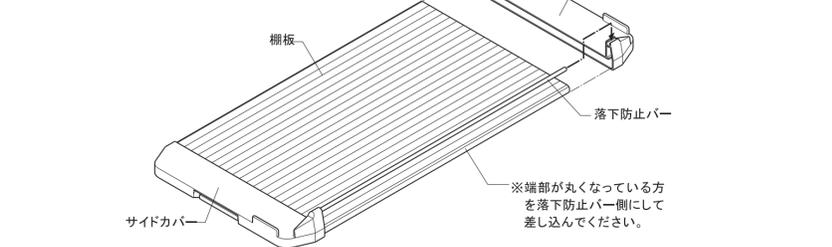
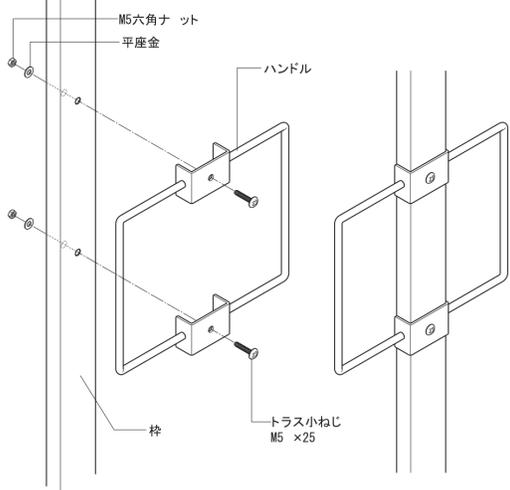


- ⑤溝に入っていることを確認し、赤いテープをはがします。

- ⑦下アームを固定します。
- ⑧アームねじが固定され、溝に本体フレームが入っていることを本体をゆずって確認します。

- ⑨枠の穴に合わせて、ハンドルを取り付けます。

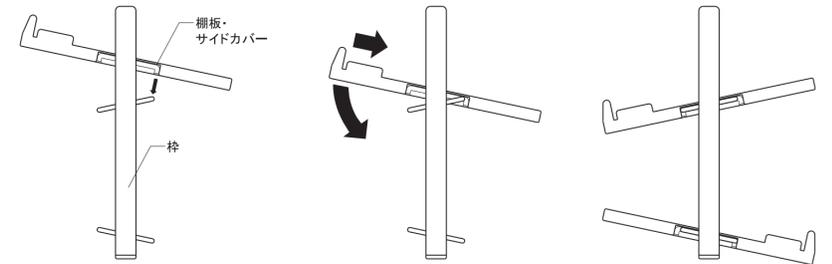
- ⑩棚板に左右のサイドカバーと落下防止バーを差し込みます。



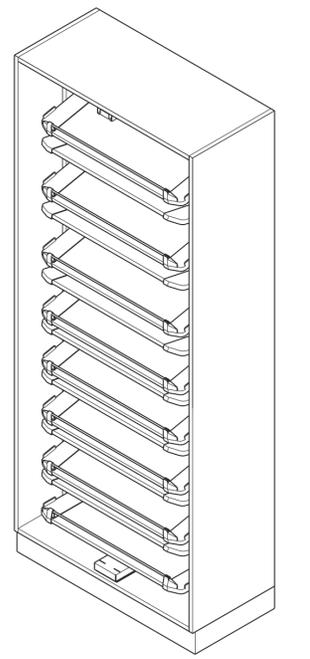
- ⑪棚板を枠の中に入れ、サイドカバーの奥の穴を金具の奥の方に上からはめ込みます。

- ⑫棚板を奥に押しながら手前を押し下げます。

- ※外す場合は、逆の要領で行ってください。



■完成図



▲注意

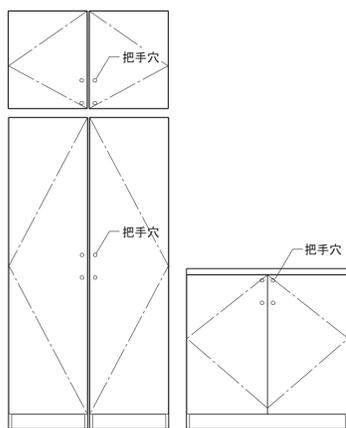
- 「カチッ」と音がするまで棚板の手前を押し下げ、本体に固定されていることを確認してください。

9 扉の取付け

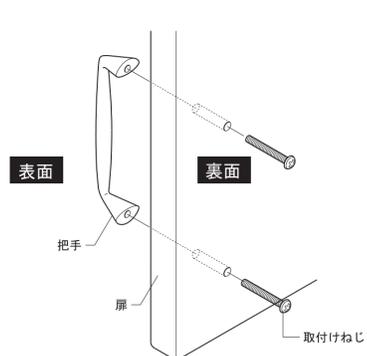
- ①扉の左右勝手を確認します。

※ウォールキャビネットは把手穴が下、ベースキャビネットは把手が上になります。

※トールキャビネットは中央に把手穴があります。

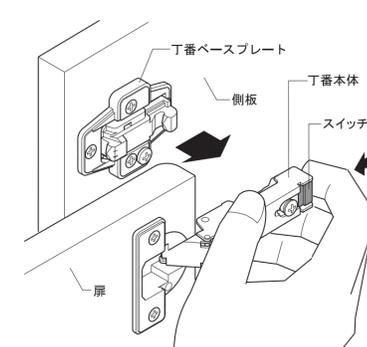
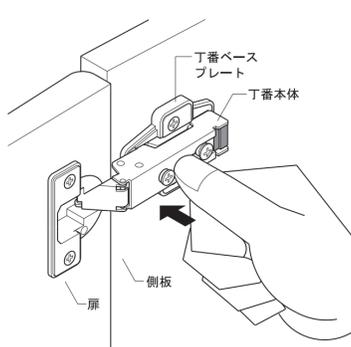


- ②把手を取り付けます。

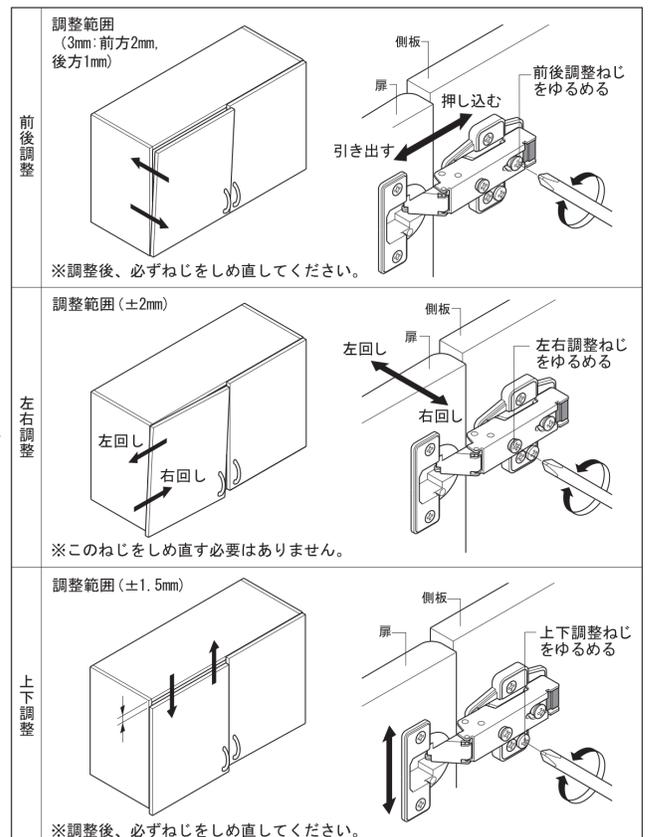


- ③扉をつり込みます。 ※扉の丁番本体をキャビネットの丁番ベースプレートにセットし、上から押し込むだけで簡単にセットできます。

※取り外す場合は、先端のスイッチ(黒)を押し込むと外れます。



10 扉の調整



▲注意

- 扉を本体に取り付ける際は、丁番本体が「カチッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因となります。